

6 月 08 日出題のレポートのコメント

よくできているとレポートには よくできました の判が押してあります。判のないレポートは下記を参考にして考えてみてください。それでも不明な点は質問に来てください。

問題 28 X, Y はともに離散型確率変数であることに注意する。したがって、計算をするときは和の記号が登場する。

(ii) X の周辺確率関数の定義から

$$f_X(x) = f_{X,Y}(x, -1) + f_{X,Y}(x, 0) + f_{X,Y}(x, 1) + f_{X,Y}(x, 4), \quad (x = 1, 2, 3)$$

に注意すればよい。 Y の周辺確率関数 $f_Y(y)$ も同様に求めればよい。

問題 30 (a) と (b) の X, Y はともに離散型確率変数であることに注意する。したがって、計算をするときは和の記号が登場する。積分の計算をしてはいけない!

(i) $f_{X,Y}(x, y)$ が同時確率関数であるためには、 $\sum_{x=1}^3 \sum_{y=1,2} f_{X,Y}(x, y) = 1$ となる。

(ii) (i) とほぼ同様である。ただし、和をとる範囲が異なることに注意。